

アンケート調査結果の概要

(1) 目的

狭山市こども計画（仮称）の策定にあたり、教育・保育・子育て支援に関する家庭の実情やニーズ、意見等を把握するためのアンケート調査を実施。

(2) 調査期間

令和6年2月9日（金）～ 令和6年2月29日（木）

(3) 調査対象者

	調査対象者
子育てニーズ調査	未就学児及び小学生がいる世帯を対象に無作為抽出
生活状況調査	中学2年生及びその保護者を対象に無作為抽出

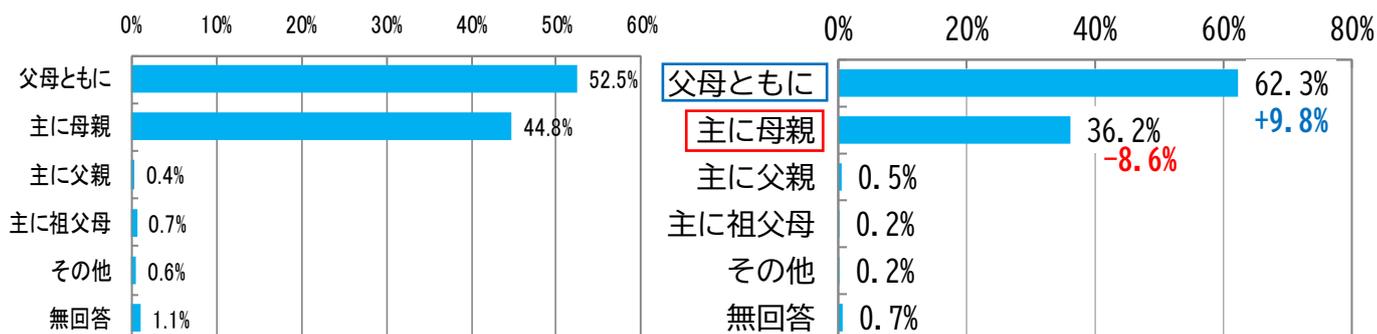
(4) 配布数及び回収数

	配布数	回収数	回収率
子育てニーズ調査			
未就学児のいる世帯	1,000件	586件 (郵送：337件) (Web回答：249件)	58.6% (郵送：33.7%) (Web回答：24.9%)
小学生のいる世帯	1,000件	639件 (郵送：279件) (Web回答：360件)	63.9% (郵送：27.9%) (Web回答：36.0%)
生活状況調査			
中学2年生	500件	273件 (郵送：111件) (WEB回答：162件)	54.6% (郵送：22.2%) (WEB回答：32.4%)
中学2年生の保護者	500件	325件 (郵送：120件) (WEB回答：205件)	65.0% (郵送：24.0%) (WEB回答：41.0%)

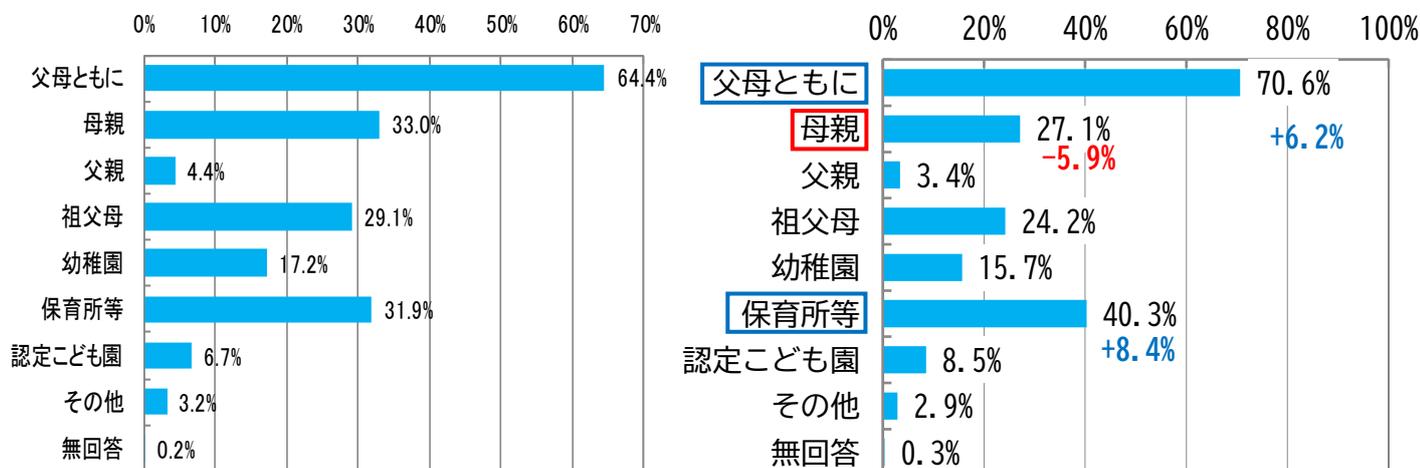
子育てニーズ調査

1 未就学児のいる世帯

○ 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。



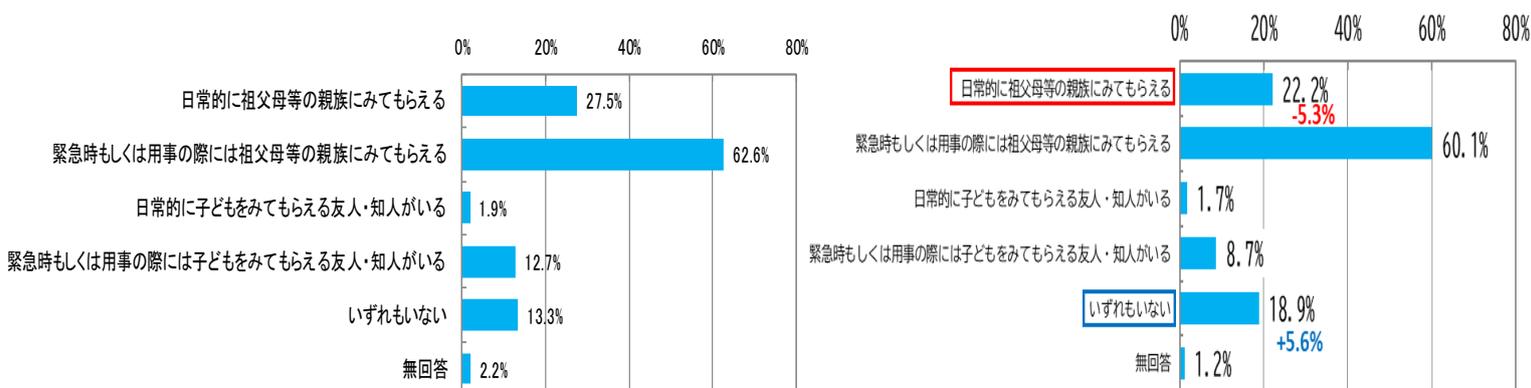
○ 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。



調査結果等

- ・夫婦で協力して育児や子育てを行っている世帯が増加している。
- ・子育てに関わる父親も増加していることから、育児休暇の取得促進や時短勤務など、仕事と家庭の両立支援が必要。

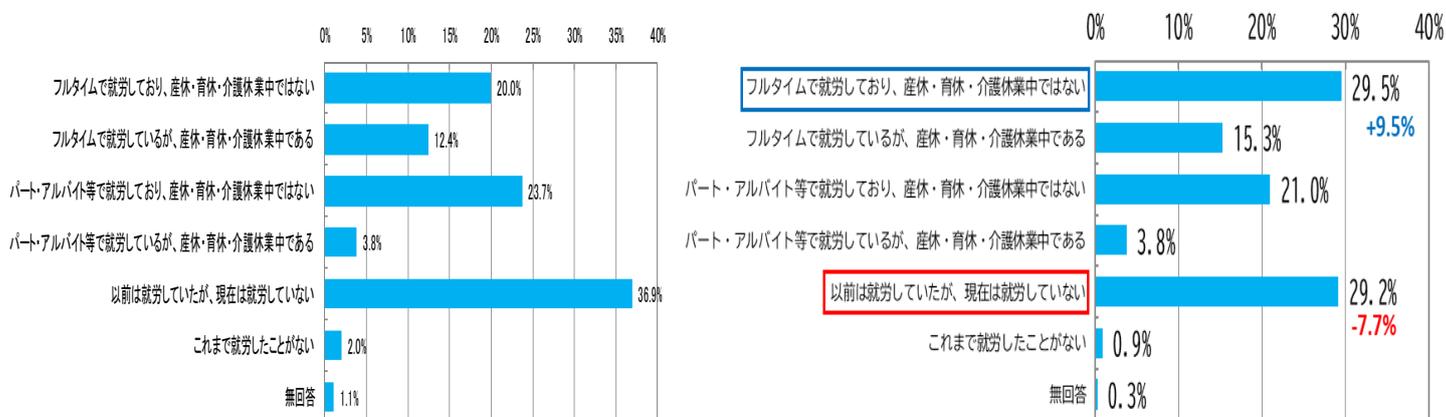
○ 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。



調査結果等

- ・ 子どもをみてもらえる親族等がない世帯が増加している。
- ・ 緊急時はもとより、日常的な子どもの預かりのニーズが高くなっている状況が推測される。

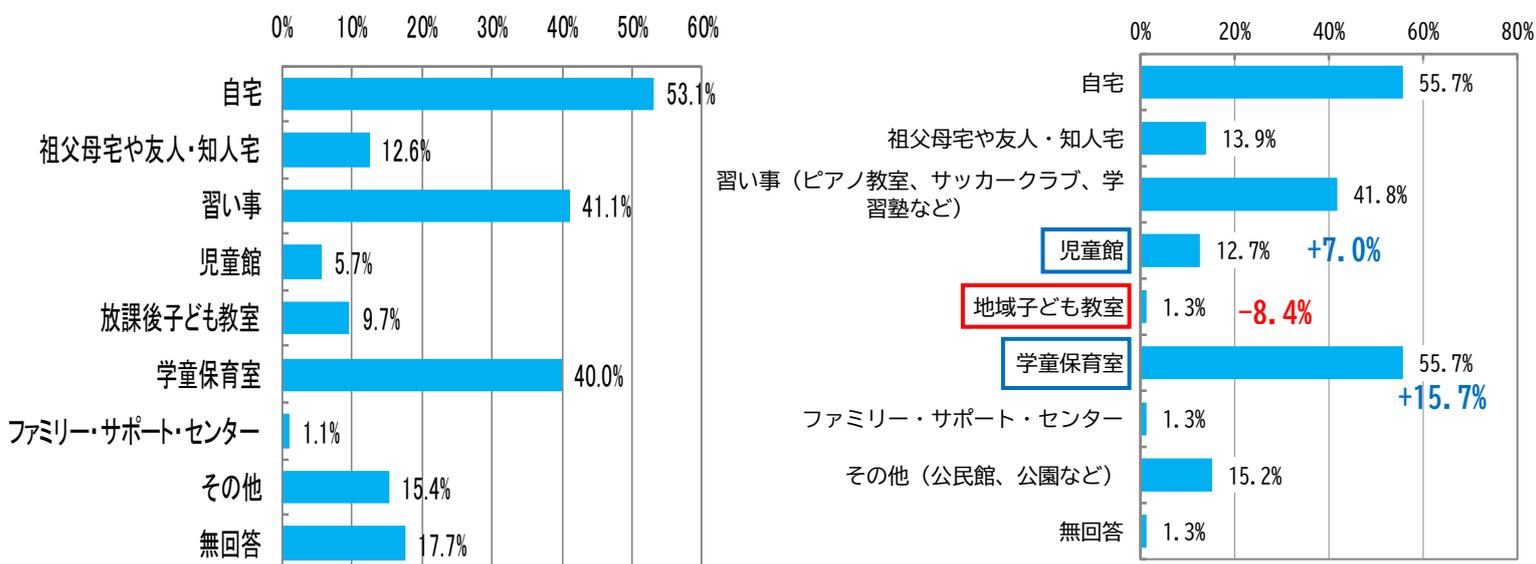
○ 母親の就労状況。



調査結果等

- ・ 母親のフルタイム勤務が増加している。
- ・ 保育所等への入所希望など、日常的な子どもの預かりのニーズが高くなっている状況が推測される。

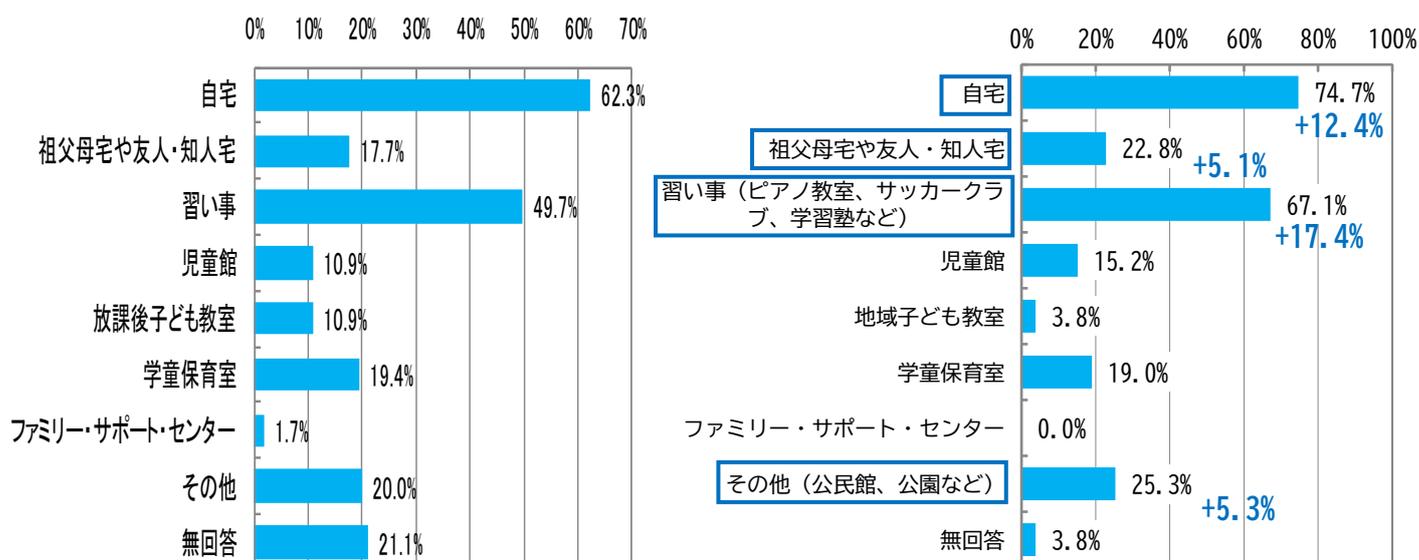
○ 小学校低学年（１～３年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。



調査結果等

- ・低学年では、学童保育室の希望が増加している。
- ・共働き世帯の増加により学童保育室や児童館など、こどもが放課後に安心して過ごせる居場所のニーズが高くなっていることが推測される。

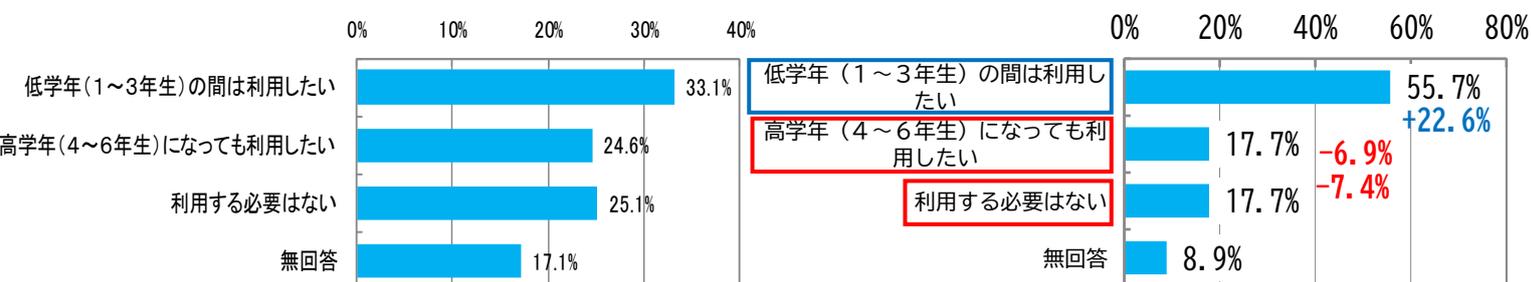
○ 小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。



調査結果等

- ・高学年でも学童保育室や児童館の希望はあるものの、自宅や習い事などの割合が増加している。

○ 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。



調査結果等

- ・低学年では、長期休暇中の学童保育室の利用希望が増加している。
- ・保護者の共働きやこどもをみてもらえる親族等がない世帯の増加などにより、特に低学年における長期休暇中のニーズが高くなっている。

○ 育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

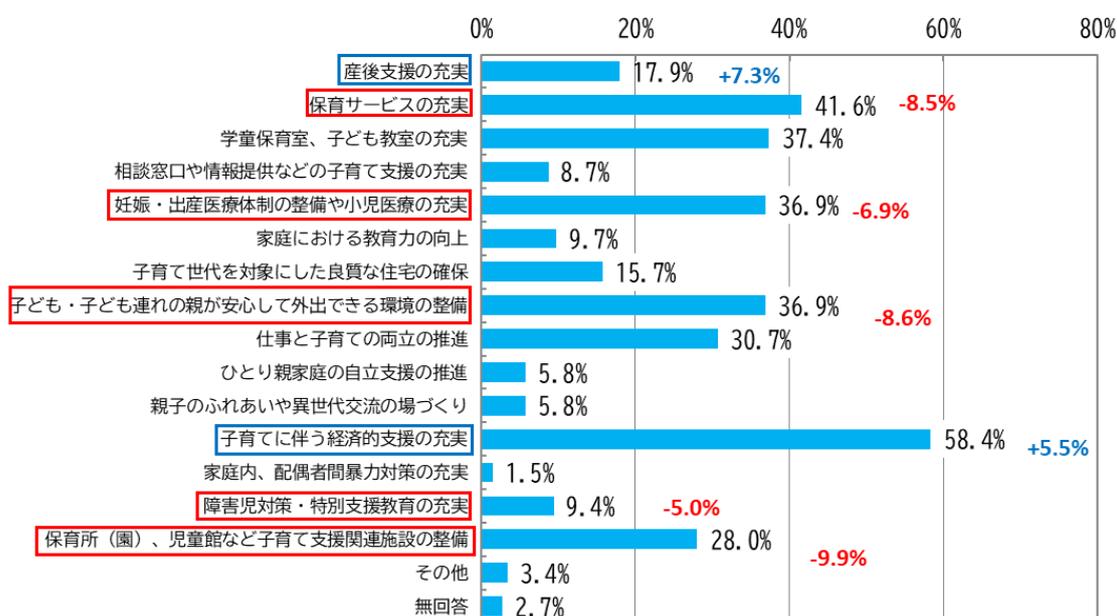
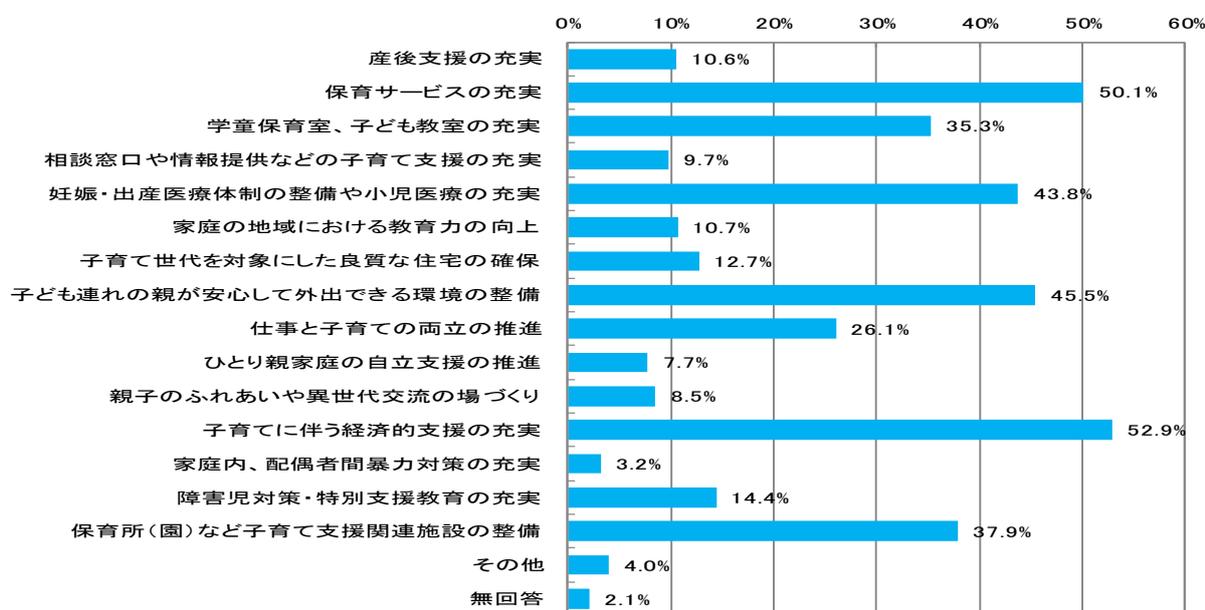
項目	母親		父親	
	度数	構成比	度数	構成比
0ヶ月~3ヶ月	1	0.3%	3	10.0%
4ヶ月~6ヶ月	2	0.7%	2	6.7%
7ヶ月~12ヶ月	61	20.9%	4	13.3%
1歳 1ヶ月~5ヶ月	6	2.1%	0	0.0%
1歳 6ヶ月~12ヶ月	80	27.4%	0	0.0%
2歳 1ヶ月~5ヶ月	9	3.1%	0	0.0%
2歳 6ヶ月~12ヶ月	111	38.0%	6	20.0%
3歳 1ヶ月~5ヶ月	6	2.1%	0	0.0%
3歳 6ヶ月~12ヶ月	0	0.0%	1	3.3%
4歳以上	1	0.3%	1	3.3%
無回答	15	5.1%	13	43.3%
回答者数	292		30	
非該当	909		1,171	

項目	母親		父親		変化
	度数	構成比	度数	構成比	
0ヶ月~3ヶ月	1	0.5%	24	23.3%	+13.3%
4ヶ月~6ヶ月	2	1.0%	11	10.7%	
7ヶ月~12ヶ月	23	11.3%	24	23.3%	+10.0%
1歳 1ヶ月~5ヶ月	24	11.8%	5	4.9%	+9.7%
1歳 6ヶ月~12ヶ月	36	17.7%	10	9.7%	+9.7%
2歳 1ヶ月~5ヶ月	1	0.5%	0	0.0%	
2歳 6ヶ月~12ヶ月	103	50.7%	16	15.5%	+12.9%
3歳 1ヶ月~5ヶ月	3	1.5%	0	0.0%	
3歳 6ヶ月~12ヶ月	3	1.5%	2	1.9%	
4歳以上	3	1.5%	0	0.0%	
無回答	4	2.0%	11	10.7%	
回答者数	203	100.0%	103	100.0%	
非該当	383		483		

調査結果等

- ・こどもが1歳までは父親も育児休暇を取得したい希望が高く、母親は、こどもが3歳までは育児休暇を取得したい希望が高い。
- ・他の調査項目では、希望する保育所に入るためや経済的な理由により、希望時期より早く職場復帰している状況が多く見受けられる。

○ 子育て支援の環境づくりに対する施策について、市が重点的に取り組む必要が高いと思われるものは何だと思えますか。当てはまるもの5つまでに○をつけてください。

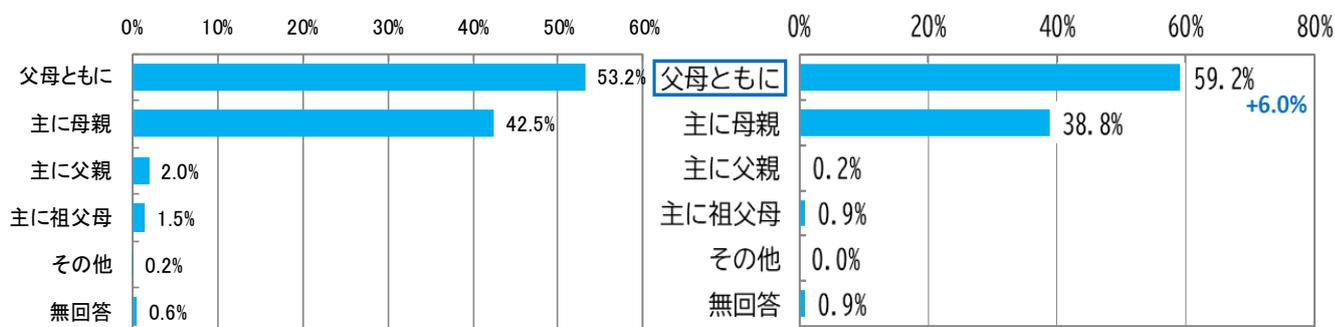


調査結果等

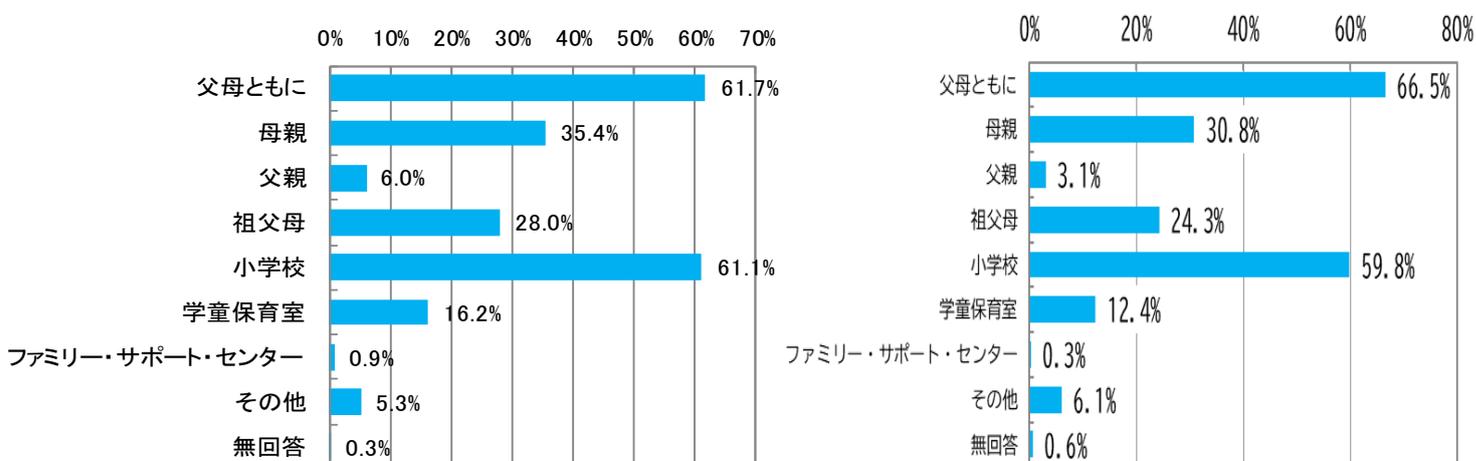
・経済的支援、保育サービス、学童保育室、妊娠・出産や小児医療体制などの充実を望む声が多く、中でも、経済的支援や産後支援の充実を望む声が増加している。

2 小学生のいる世帯

○ 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。



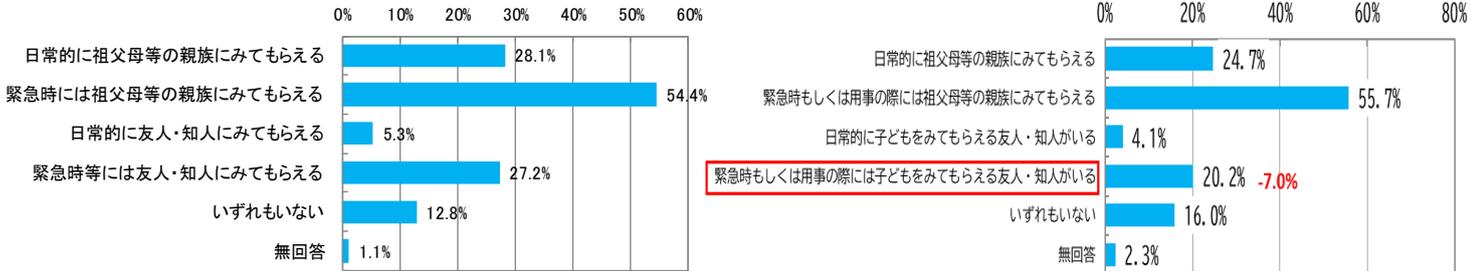
○ お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。



調査結果等

- ・ 夫婦で協力して育児や子育てを行っている世帯が増加している。
- ・ 子育てに関わる父親も増加していることから、育児休暇の取得促進や時短勤務など、仕事と家庭の両立支援が必要。

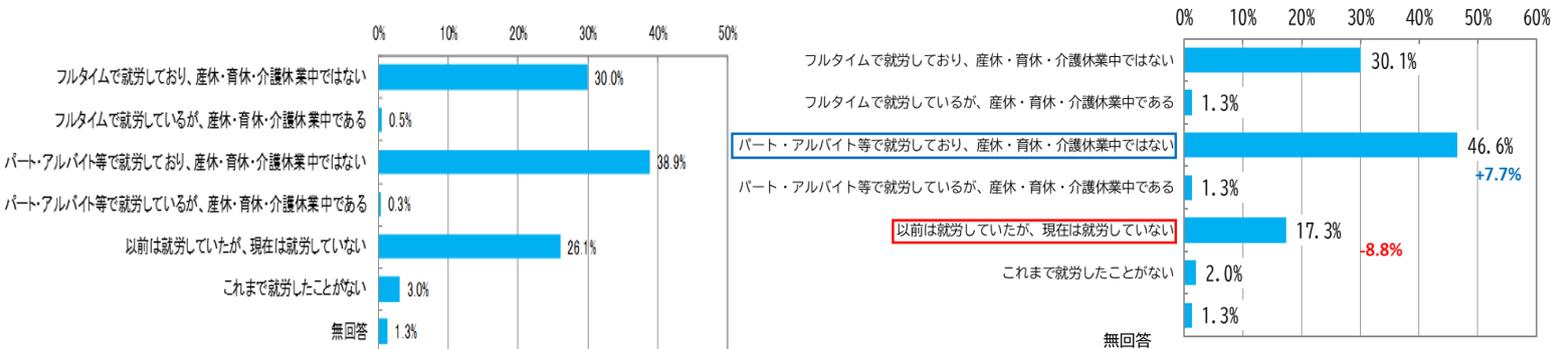
○ 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。



調査結果等

- ・子どもをみてもらえる親族等がない世帯が増加している。
- ・緊急時はもとより、日常的なこどもの預かりのニーズが高くなっている状況が推測される。

○ 母親の就労状況。

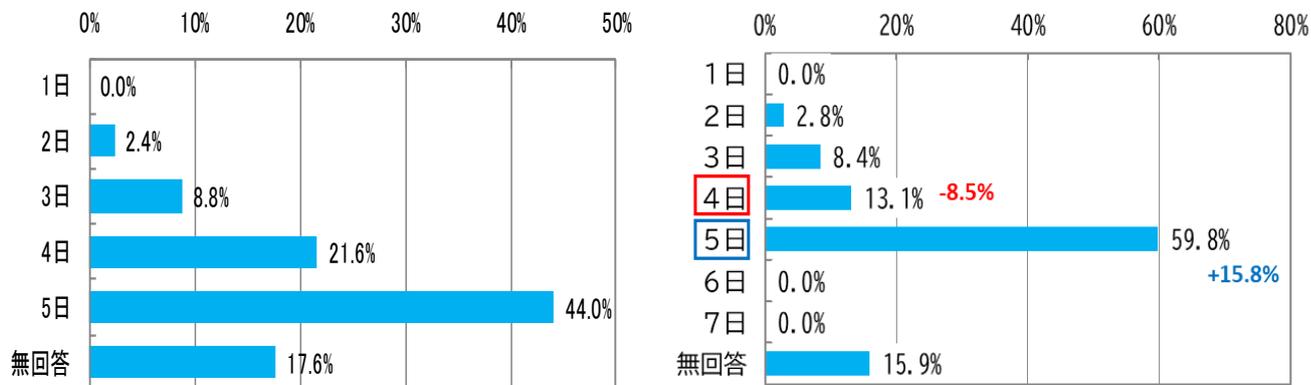


調査結果等

- ・母親のフルタイム勤務が増加している。
- ・保育所等への入所希望など、日常的なこどもの預かりのニーズが高くなっている状況が推測される。

○ 学童保育室を希望としてはどのくらい利用したいですか。

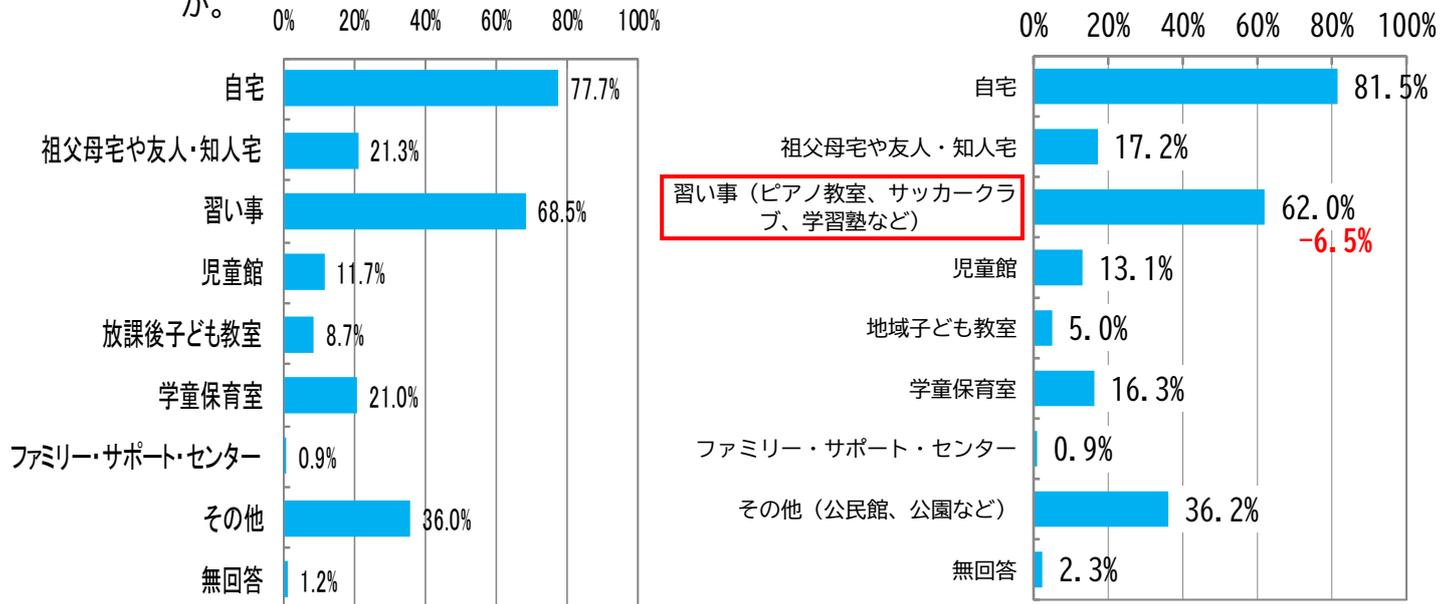
■ 1週当たりの利用希望日数



調査結果等

- ・ 1週間あたり5日の利用希望が最も多く、また、利用希望の割合も増加している。
- ・ 共働き世帯の増加に伴い、5日の利用希望が増加しているものと推測される。

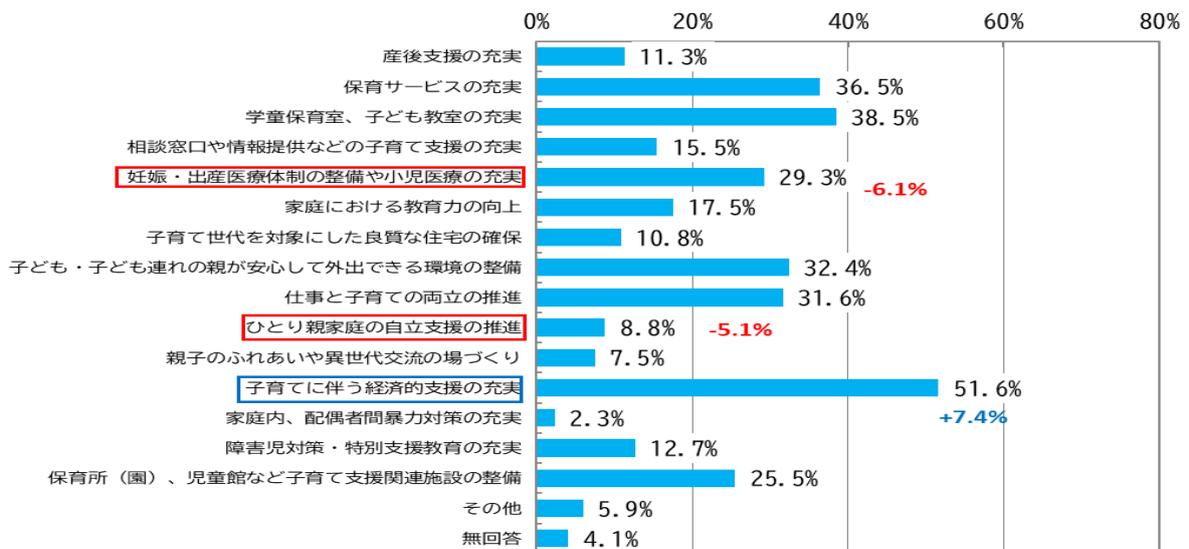
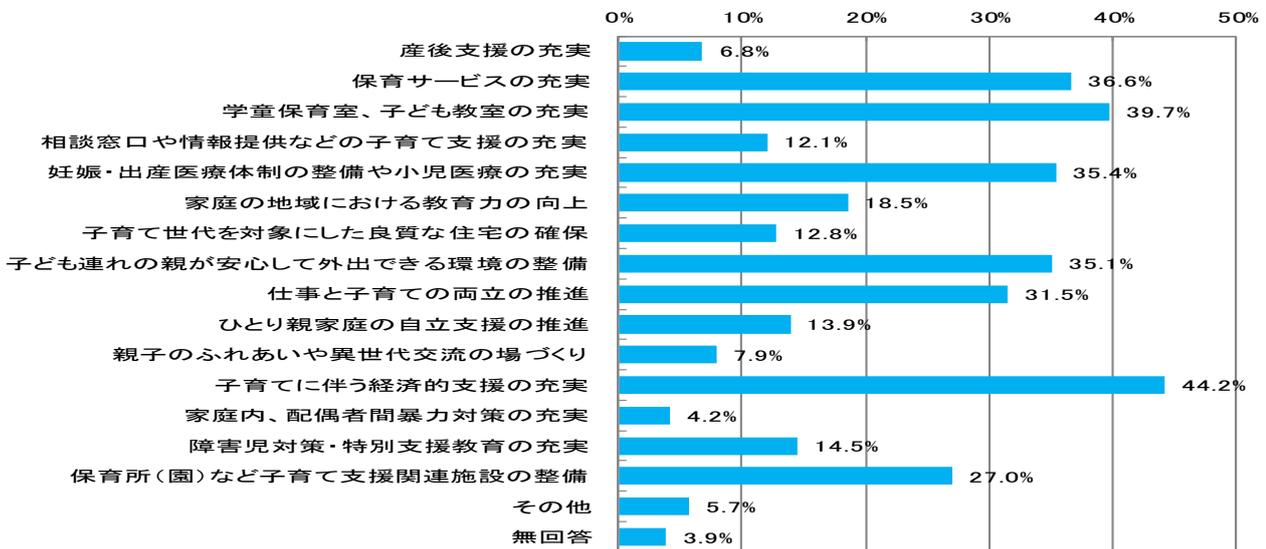
○ 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。



調査結果等

- ・ 学童保育室や児童館の希望はあるものの、自宅や習い事などの割合が高い。

○ 子育て支援の環境づくりに対する施策について、市が重点的に取り組む必要が高いと思われるものは何だと思えますか。当てはまるもの5つまでに○をつけてください。



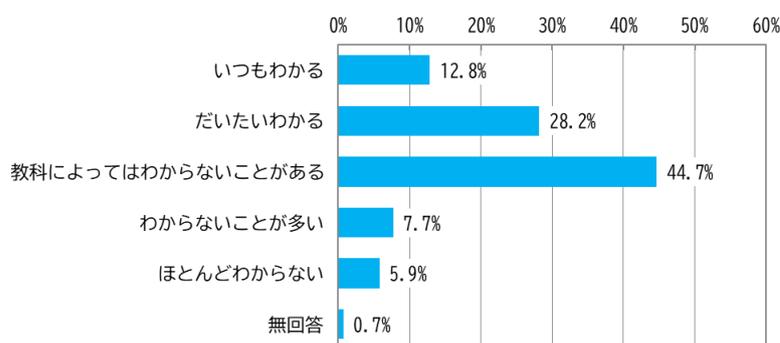
調査結果等

・経済的支援、学童保育室、保育サービスの充実や、安心して外出できる環境の整備、仕事と子育ての両立支援などの希望が多く、中でも、経済的支援を望む声が増加している。

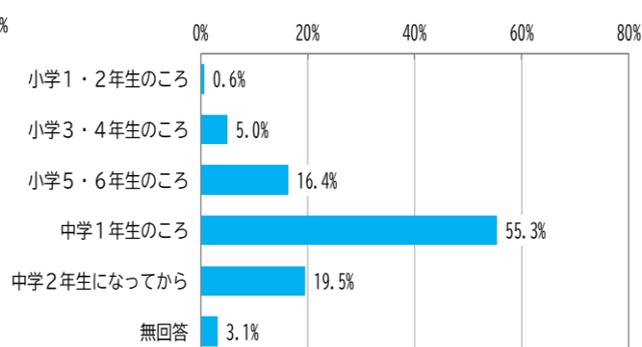
生活状況調査

1 中学2年生

○ あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。



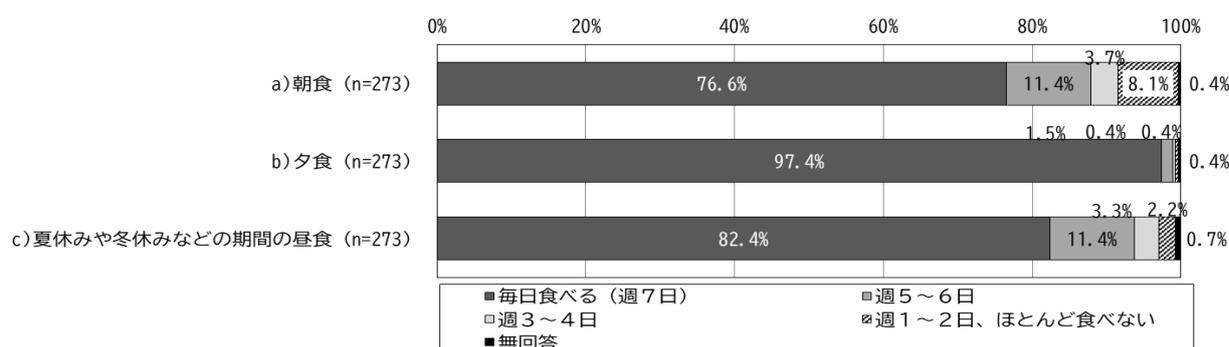
○ いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。



調査結果等

- ・授業が分からないことがある生徒は約58%、授業が分からないことがあるようになった時期は、中学校1年生頃からが約55%。
- ・中学校1年生頃から授業が分からないケースが多くなるため、特に、この時期の学習支援が必要。

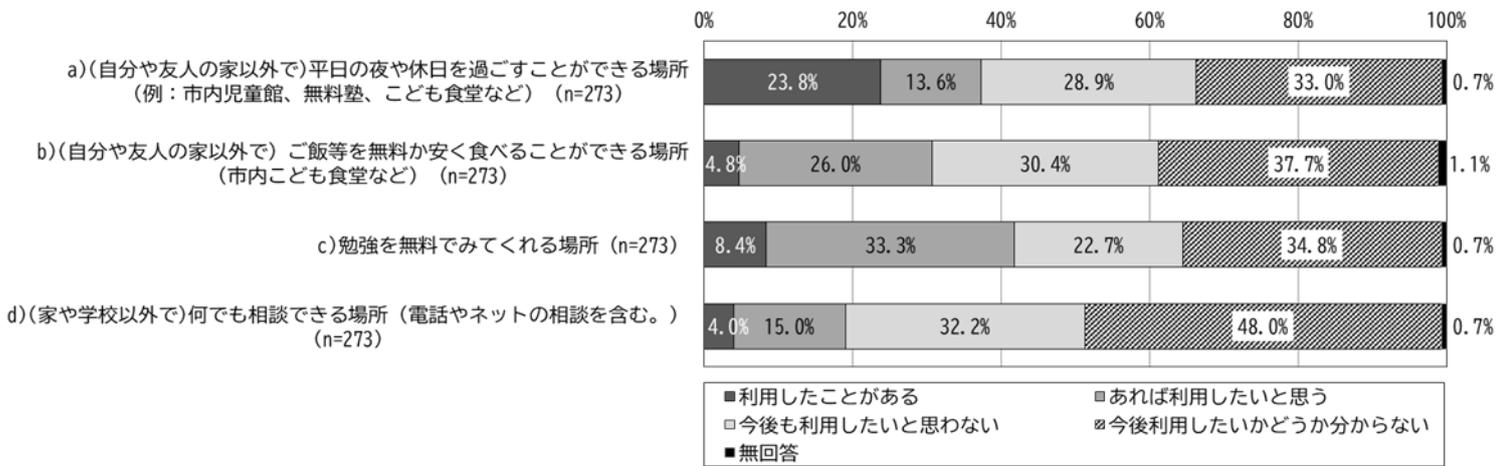
○ あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。



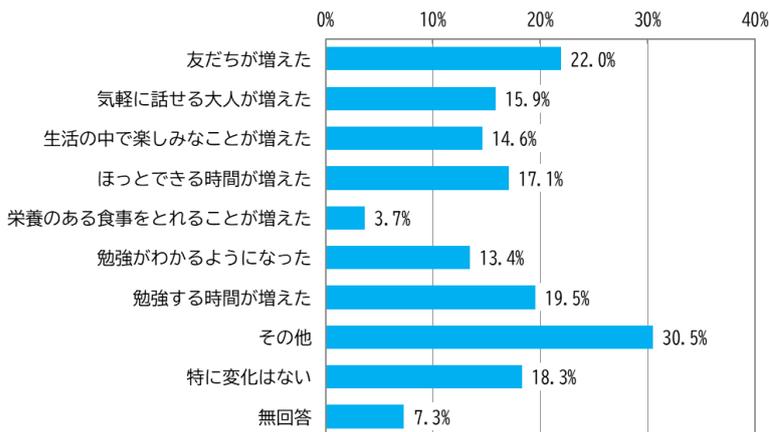
調査結果等

- ・夕食はほとんどの生徒が食べているが、毎日、朝食を食べない生徒が約23%。また、長期休暇中は、昼食を毎日食べない生徒が約17%いる状況。

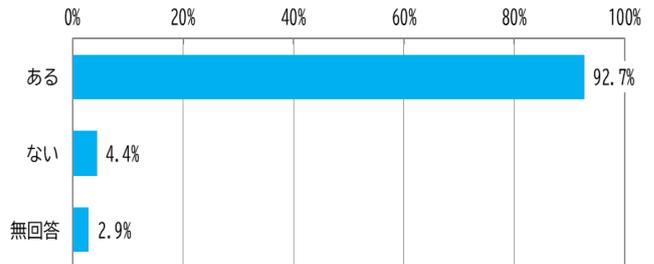
○ 次のような場所を利用したことがありますか。



○ 利用したことで、以下のような変化がありましたか。



○ あなたが安心して過ごせる場所がありますか。

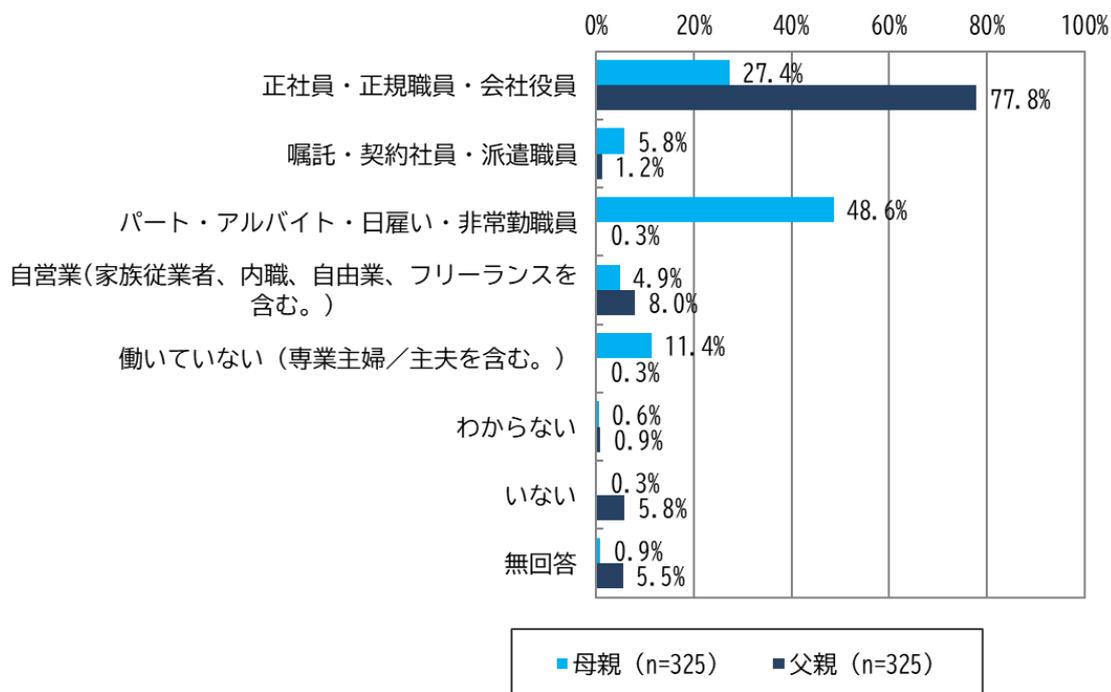


調査結果等

- ・ 利用したことがある生徒は少ないものの、利用した効果としては、友だちが増えたことや勉強する時間が増えたこと、ほっとできる時間が増えたことなど、前向きな回答が多い。
- ・ 安心して過ごせる場所については、約92%は「ある」と回答しているが、「ない」と回答している生徒も約4%いる。
- ・ こどもの居場所として、今年度、市民提案型協働事業「イベント型こどもの居場所づくり事業」や行政提案型協働事業「集まれオンラインしゃべり場事業」を実施している。

2 中学2年生の保護者

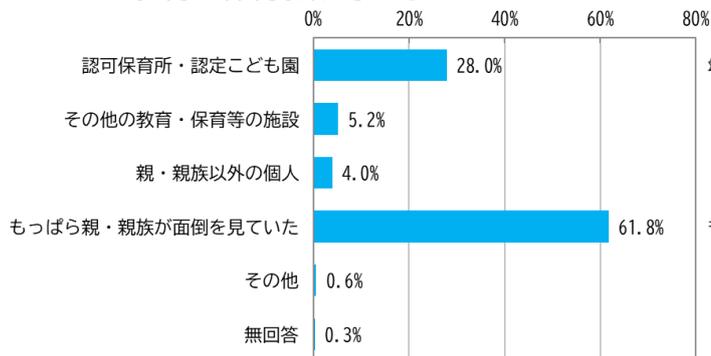
○ 就労状況について。



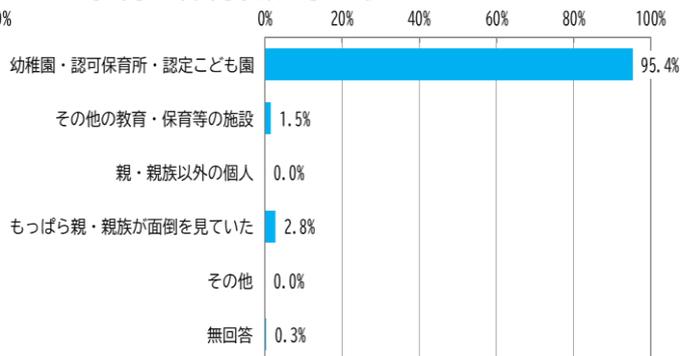
調査結果等

・父親はフルタイムが約 77%、自営業が約 8%、母親は、パートタイム・アルバイトが約 48%、正社員が約 27%となっている。

○ お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの。



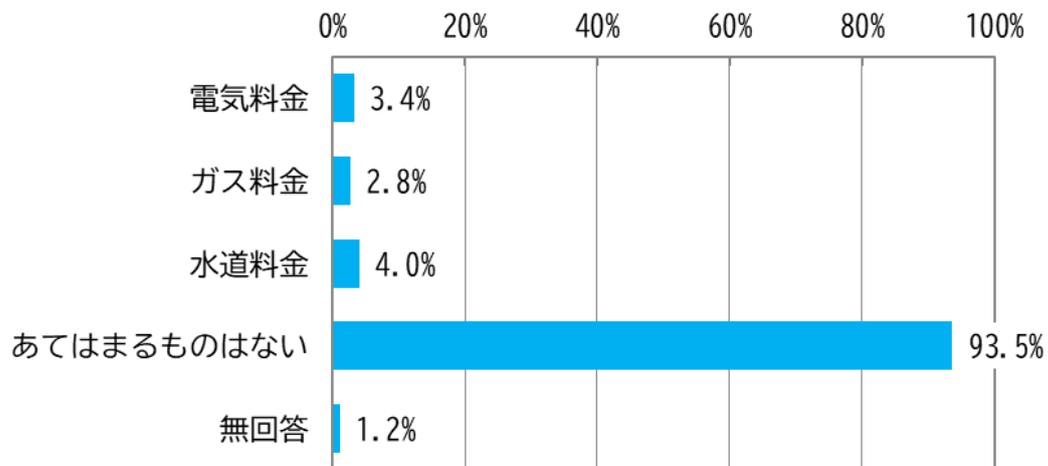
○ お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの。



調査結果等

・こどもが0～2歳の間は自ら面倒を見ているケースが多く、3歳からは幼稚園や保育所等に通うケースがほとんどである。

○ 過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。



調査結果等

・公共料金が払えなかった世帯は上記のとおりであり、その他の調査項目でも、生活状況が苦しい・大変苦しいが約 36%、必要とする食料品が買えなかったケースが約 13%という状況であり、経済的支援を望む声が多いものと推測される。

○ 主な自由記述

【未就学児の保護者】

- ・ 経済的な援助（手当・保育料・給食費・予防接種・教育費など）
- ・ 子育ての相談やサポート体制の充実
- ・ 夜間や休日の医療体制の充実
- ・ 安全に安心して遊べる施設や居場所の充実（公園・遊具・児童館・こども食堂など）
- ・ 気軽に短時間こどもを預けられる施設や病気の時に預けられる施設の充実
- ・ 長期休暇や放課後の預け先の充実（学童保育室や児童館など）
- ・ 通学路や歩道の整備

【小学生の保護者】

- ・ 経済的な援助（手当・保育料・給食費・予防接種・教育費など）
- ・ 子育ての相談やサポート体制の充実
- ・ 夜間や休日の医療体制の充実
- ・ 安全に安心して遊べる施設や居場所の充実（公園・遊具・児童館・こども食堂など）
- ・ 気軽に短時間こどもを預けられる施設や病気の時に預けられる施設の充実
- ・ 長期休暇や放課後の預け先の充実（学童保育室や児童館など）
- ・ 通学路や歩道の整備
- ・ P T A 活動の軽減化

【中学2年生】

- ・ 勉強のできる場所・映画館・ゲームセンター・バスケットコート・遊べる場所などの学校以外で過ごすことができる施設や場所
- ・ 高校や大学の無償化
- ・ 人間関係、勉強の遅れ・進学や自分の将来などに対する不安

【中学2年生の保護者】

- ・ 経済的な支援の充実（医療費・授業料・給食費・教育費・無料学習支援など）